

ロボット介護推進プロジェクト 移動介助（非装着型）

*i-PAL導入効果測定報告

－ 岐阜県内での取り組み事例 －

株式会社 今仙技術研究所
岐阜県福祉総合相談センター

岐阜県立 障害者支援施設 サニーヒルズみずなみ

* i-PAL 概要

アームクッション

リモコン



下肢のセッティング





上肢のセッティング



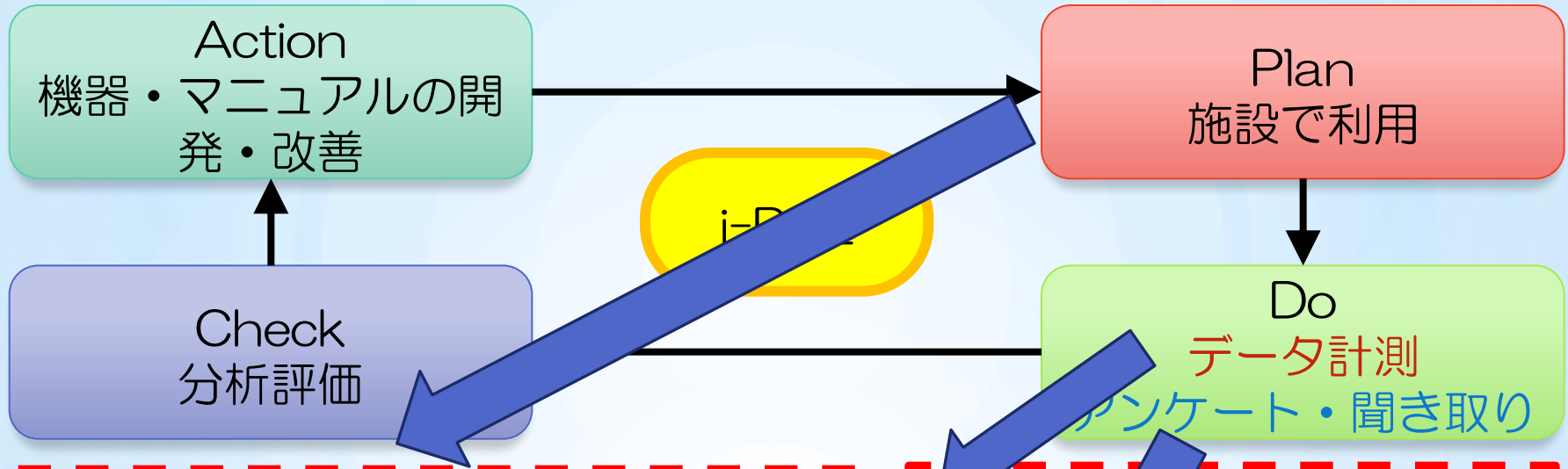
リモコン
操作による
移乗

* プロジェクトの流れ

- * 2014年 5月 プロジェクト始動、仲介者・協力施設への協力依頼
- * 2014年 6月 チーム編成
- * 2014年7-8月 機器製作 ←   43台作製
- * 2014年 9月 導入講習会の開催
- * 2014年10月 導入前測定の実施、i-PAL導入開始
- * 2014年11月 導入後3週間後の測定、導入後6週間後の測定
- * 2014年12月 導入後9週間後の測定、効果測定終了
- * 2015年 1月 効果測定のまとめ、事業完了（予定）

介護現場で実際に使えるロボット 介護機器を導入するために

* 効果測定のための目的



被介護者	必要な時に移乗できるか？
	移乗の身体的負担が軽減されるか？
	遠慮や気兼ねなく移乗できるか？
	移乗が容易になることで、食事、排泄、整容や趣味、参加レベルの機会が増えるか？
介護者	体重支持が軽減されるか？
	1人でも移乗介助が可能になるか？

被介護者の人数、自立度
介護者の人数
移乗介助の開始時刻、終了時刻
きつさ
移乗の目的
移乗の対象物 車椅子⇄ベッド
介護者のリフト使用経験
現状の移乗介護の課題(対象者)

実証試験総論 - 移乗介助(非装着型・装着型)、排泄支援 -
2014.7.1 大川弥生(産業技術総合研究所)をもとに作成

対象者の選定

①導入講習会の実施

i-PALの機構・適応・禁忌を説明。

②対象者の状態の把握

被介護者の状態を基礎記録用紙に記入してもらう。

③対象者の選定

基礎記録用紙と施設での聞き取りから対象者を選定。



導入講習会の様子

■基礎資料用紙

施設名		実施日	月	日
-----	--	-----	---	---

1. 基本情報

氏名			
性別	男 / 女	年齢	歳
氏名	担当者		
住居形態	なし・あり	「あり」の場合は記す	
日常生活活動の自立	なし・あり		
現在の状態	介護士の必要数	自立行動・座位行動・歩行行動 介人数(人)	
		移動に必要な介助時間(分)	(分)
	介護士の必要数	自立行動・座位行動・歩行行動 介人数(人)	
		移動に必要な介助時間(分)	(分)

2. 身体寸法

身長	cm		
体重	kg		
座位時背の高さ	背高100cm	背高110cm	背高120cm

3. 基本能力

目の視覚から読み上げることができるか	可能/なし	5分	できない
聴覚で読み上げることができるか	可能/なし	5分	できない
読み取ることができるか	可能/なし	5分	できない
読み上げることができるか	可能/なし	5分	できない
読み取ることができるか	可能/なし	5分	できない
読み取ることができるか	可能/なし	5分	できない
読み取ることができるか	可能/なし	5分	できない

基礎記録用紙

移乗介護の記録

産総研が開発している目標指向的介護記録システム
(Go Care Support System) を介護施設に配布。
移乗介護の記録を送信してもらう。

今回の記録方式に慣れてもらうため
導入前は紙で運用し、導入後からスマホを活用した。

移乗動作チェック表
対象の方が移乗される時に記入をお願いします。

実施日		実施者		
年	月	日	氏名	
6	10	10	田中	
時間	所用時間(分)	実施内容	方法	その他
6:10	10	排泄、食事、レクリエーション、目的完了、車いす移動、作業、散歩、更衣、入浴、立位訓練、起床、就寝	i-PAL	その他機器 非使用
6:30	5	排泄		

導入前測定記録紙

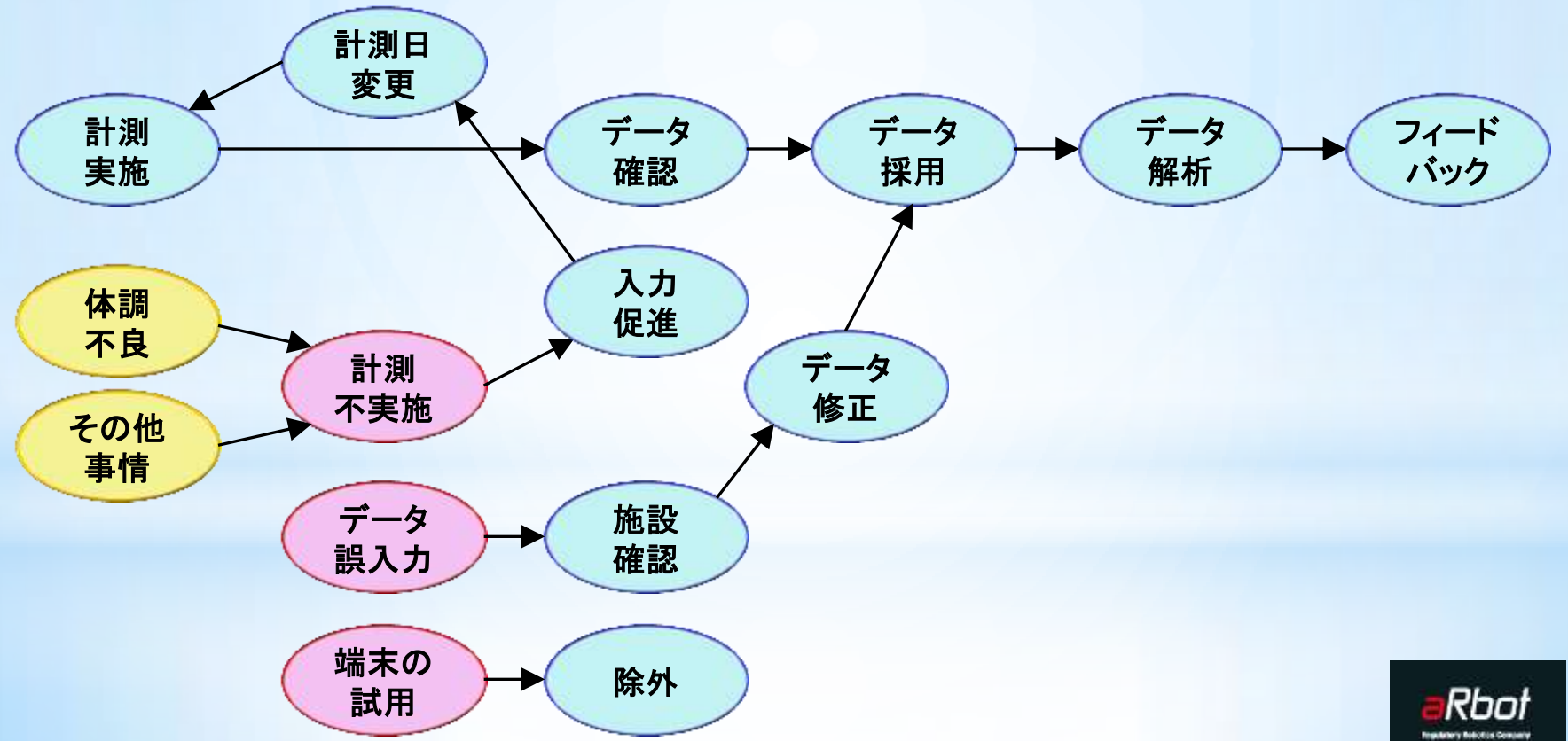
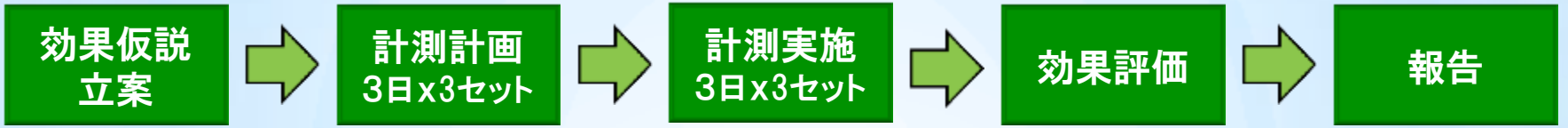
*効果測定



正しく効果評価するためのプロセス構築と管理

* 効果測定

(アルボット社)



* 介護現場にて



実際の使用場面(サニーヒルズみずなみ)



*ご静聴 ありがとうございました。